



ア プ カ ス
APCAS
අප්කස් අධිකරණය

...

ソーシャルビジネスで
みんな一緒に一歩前へ

Human Development + Social Business

アプカスは、スリランカで20年
控えめで地味ですが
味わい深い国際協力NGOです



石川 Line



Sri Lanka Office
ISHIKAWA NAOHITO
✉ ishikawa@apcas.org

歴史的な転換点を迎えたスリランカで

2004年のスマトラ沖地震によるインド洋大津波、2009年の内戦終結、2019年の連続爆破テロ、2020年のコロナ禍による完全ロックダウン、2022年の財政破綻、そして2024年には独立以来76年続いた二大政党支配からの転換による新政権の誕生——。この20年余り、我々は数多くの歴史的出来事の現場に立ち会ってきました。

経済危機により国の外貨が不足した際は、インフレ率が50%を超え、停電が頻発する中、車の給油に10日間並ぶなど、日常生活そのものが困難な状況が続きました。それでも多くの方々の支えにより、我々は歩みを止めることなく、団体や事業を存続することができました。

活動を始めた20代を振り返ると、正直なところ失敗の連続だったように思います。しかし、それらの経験を糧に、2025年には視覚障がい者が働く指圧サロンに加え、聴覚や発達に障がいのある女性たちが活躍するネイルサロンを新たに開業し、20名を超える障がい者に働く場を提供するまでに成長し、一定の成果をお見せできるまでにしました。

経済危機の影響はいまも続き、多くのスリランカの人々が将来への希望を見出しにくい中で、海外へ活路を求めています。一方、国内で「豊かに暮らす」選択肢があるのなら、必ずしも国外へ出る必要はないはずです。我々は改めて、モットーである「ともに歩く」という言葉を胸に、これからも歩みを続けていきます。



Japan Office
ITO SHUNSUKE
✉ ito@apcas.org

「ともに創る」へ。新フェーズに挑戦したい

スリランカの現場に根ざした継続的な事業経験を団体の強みとして、引き続き、現場視点での情報発信やネットワークづくりに注力し、事業の発展と安定化を目指します。

また、メイン事業の土台が整いつつあることから、これまでに培ってきた経験やノウハウを、次の時代につないでいくプロジェクトへを展開していきたいと考えています。

ソーシャルビジネス人材・起業家の育成を軸に、両国の民間企業や研究機関、そして次世代を担う若い皆さんと連携し、スリランカが持つ伝統医療や植物資源、紅茶といった独自性の高い素材を生かし、より多くの人に恩恵のある新たな価値を共に創り出していければと思います。ご関心のある方は、ぜひお気軽にお声がけください。



海外インターン研修も受け入れています APCAS INTERNSHIP PROGRAM

舞台は、ソーシャルビジネスの現場
人生の大きな軸になる時間を創る！

アプカスの現場で、ピリッと刺激的なインターン研修はいかがですか？ 都市部はコロナ禍中心部、農村部ではキャンディを拠点に、私たちのネットワークを活かして参加者の目的や興味に合わせた多彩なプログラムをご用意します。企業向けの海外研修の受け入れも行っています。



多くの若者が現地で研修



特定非営利活動法人アプカス 法人番号 4400-05-001486

- ◆スリランカ事務所 / スリランカ NGO 登録済
27/12 Rosmead Place, Colombo 07, Sri Lanka
+94 779896183 (担当：石川)
- ◆日本事務所
〒040-0054 北海道函館市元町 20 番 15 号
090-7653-2329 (担当：伊藤)
office@apcas.org (代表メール)



APCAS INFO

ともに考え、ともに歩く
-Think together, Walk together-



APCAS History



APCAS Project

APCASは、2004年のスマトラ沖地震津波被災者支援をきっかけに活動を開始し、その後、災害支援、農村開発、教育、環境、障がい者分野など、国際協力事業をスリランカ全土で数多く展開してきました。近年は公益性と持続性の両立を目指し、社会起業による課題解決に力を入れています。私たちは「国際協力×ソーシャルビジネス」分野のトップランナーを目指し、一歩ずつ歩みを進めています。

【農業分野】 ケンコー・ファースト
KENKO1ST ORGANIC
環境配慮型の農業をブランド化
みんなに美味しいをスリランカでも

循環型農業×食品ブランド構築



2015年にスタートした『Kenko1st Organic』。農業・化学肥料を使用しない有機農業技術の普及と安全で健康的な食生活の提案を行う食品ブランドとして、新鮮な農産物やこだわりの加工品をコロombo市の店舗や大手スーパーで販売中。日本への輸出版売も開始し、長期的な視点での商品開発や連携先を模索しています。



Kenko 1st Shop @ Colombo7




【障がい者雇用分野】 トーキング・ハンズ
THUSARE TALKING HANDS
視覚障がい者が指圧技術を身につけ
普通に社会で活躍する場を作る


視覚障がい者×指圧技術



2013年にコロombo中心部にオープンした視覚障がい者が働く指圧サロン『トゥサーレ』。2022年までJICAと連携し、指圧訓練を充実化。現在約14名の、男女の指圧師・訓練生が活躍中、お客様のレビューも好評です。さらに多くの視覚障がい者が専門的な教育を受け、経済的、人間的にも自立できる日が来るまで、挑戦は続きます。




指圧師による施術の様子




【障がい者雇用分野】 ライツ・アップ
THUSARE LIGHTS UP
「ネイリストになりたい」を応援
多様な美しさを目指すネイルサロン


聴覚障がい者×発達障がい者×ネイル技術



聴覚障がいや発達に障がいのある女性たちが働くネイルサロン「Thusare Lights Up」は、クラウドファンディングを通じて300万円を超えるご支援をいただき、2025年10月より営業を開始。現在は7名のネイリストが、日本人によるネイル技術指導や基礎的な学習支援を受けながら、光り輝く未来を目指し、日々技術と自信を積み重ねています。



ネイル施術の様子



APCAS ACTION MAP

【クラフト分野】 ムサコ
MUSACO SRILANKA
捨てられるバナナ繊維から手仕事を
女性が主役のアップサイクルブランド

バナナ繊維×ハンドメイドクラフト



廃棄されているバナナ繊維や伝統衣装サリーをこだわりのクラフトにアップサイクルし、販売する『ムサコ・スリランカ』。生産体制を強化しつつ、新商品の開発にも挑戦中。特にサリーを使用したオリジナルエコバッグ、ネックストラップが、企業のノベルティグッズとして大変好評です。




サリー生地のエコバッグ




【建築分野】 ザ・ライン・ハウス
THE LINE HOUSE
紅茶生産地のポツリと一軒長屋で
タミル文化と農村生活を体験する


歴史的長屋×地域ツーリズム



スリランカ中央部の山間地、紅茶プランテーションワーカーであるタミル人の孫が暮らすパウラナ村にある歴史的な長屋を日本の建築チームと地域ツーリズムの宿泊拠点に改修。薪を使った食事、紅茶摘み、タミル文化などなど、長屋住民の素朴な生活を滞在しながら丸ごと体験することができます。



改修工事完了時の長屋




【伝統医療分野】 アーユービ
REDISCOVER AYURVEDA
アーユルヴェーダで使用される
ハーブ・植物原料の可能性を追求する

伝統医療×ソーシャルビジネス



数千年の歴史を持ち、自然療法とハーブを組み合わせ、発展してきたアーユルヴェーダ。近年、健康分野で世界的に注目を集めており、私たちが栽培農家やメーカーとの連携、栽培法や使用方法の開発を関係機関と進めています。2024年に、オリジナル・ハーブティ「Ayube(アーユービ)」の販売を開始しました。




奥深い伝統医療の世界




【紅茶分野】 アルナ・ティー
ARUNA TEA
小規模農家を支える紅茶メーカーと
日本輸出業務で業務提携

紅茶生産×小規模農家支援



セイロンティー大手サプライヤー「Aruna Tea」の日本向け輸出版売窓口となりました。アルナはプランテーション生産ではなく、積極的に小規模の生産農家からの茶葉買取りを行い、「レインフォレスト・アライアンス」の取得支援農家数も国内最大。紅茶産業の未来を担う先鋭的な紅茶メーカーです。



多彩な茶葉を取り揃え

